

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	広報発行事業	会計	一般会計	事業No.	44	施策順No.	92-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-2-10-1		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	秘書課		
施策	92 情報共有の促進			事業期間	開始	S25	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	全市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人)	107259	106630	105691	105691	107000	
	意図	広報いいたの発行により、市政に関する情報を分かりやすく市民に提供する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	市の情報提供についてのアンケート調査結果より、市からの情報を広報いいたから得た人の割合(%)	86	86	86	91	86	91	B
	市の情報提供についてのアンケート調査結果より、広報いいたに対する満足度(%)	80	80	80	88	80	88	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	目標値には達しないものの、安定的に高い支持率を得ている。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	「広報いいた」を発行する。 ・1日号 36,000部/回 年12回発行 ・15日号 35,500部/回 年10回発行(8、1月なし)		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	「広報いいた」の発行 毎月2回発行(1日号平均27.3頁 15日号平均11.4頁) 市ウェブサイトへ掲載 月平均実績 1,343件(前年1,280件) 1日号 36,000部/回 年12回発行 15日号 35,500部/回 年10回発行(8月、1月なし) 有料広告の掲載 48件 1,519,200円 36,000円×11件=396,000円 32,400円×16件=518,400円 28,800円×21件=604,800円	1日号発行回数 15日号発行回数	12回 10回
23年度実施計画	「広報いいた」の発行 1日号 36,000部/回 年12回発行 15日号 35,500部/回 年10回発行(8月、1月なし)	1日号発行回数 15日号発行回数	12回 10回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (そ) 諸収入
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他	1,756	1,519	1,756		
	一般財源	14,484	14,154	14,484		
計(A)	16,240	15,673	16,240			
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)		0				
トータルコスト A+B		15,673				

4 事業に対する市民や議会の意見

市からの配布文書が多いので、「広報いいた」に集約していく

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所・市民が情報を共有する	施策の成果指標又はムトス指標	市民が知りたい行政の情報が十分に入手できると感じている市民の割合(%)
				0.633
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	市からの情報提供、情報共有という点で貢献。		
	後期に向けた課題	各種コーナーの見直し。更に読みやすく親しみやすい紙面作り。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	組合未加入者への配布。コンビニ等での配布。		
	後期に向けた課題	コンビニ等の配布エリア拡大。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	広告収入制度の導入。印刷製本費については入札制度により適正管理。		
	後期に向けた課題	現状維持。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者負担はない。		
	後期に向けた課題	受益者負担はない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は行政で情報発信の役割		
	後期に向けた課題	①主体は行政で情報発信の役割		
全体を通じて	4年間の振り返り	市からの情報提供、情報共有という点で貢献。		
	後期に向けた課題	各種コーナーの見直し。更に読みやすく親しみやすい紙面作り。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------